



高尾山の生きものたち

アカゲラ (キツツキ科)

黒と白と赤の模様があるキツツキの仲間。頭や背が黒く、喉から腹は白っぽく、下腹部が赤い。平地から亜高山までの森林に留鳥として棲み、高尾山でも見られる。木の幹に縦に止まることもでき、木々を移動して幹や枝をつつく。

木をつつくのは、中にいる虫を捕るため、また、巣を作るためや、「タラララ」と大きな音を出して縄張り宣言や求愛のためにも行われる。巣穴は、枯木などの幹に開けた直径4cm程の穴で、初夏に卵を産む。食性は、主に昆虫、クモなど。木にとっては幹に巣食う害虫を食べてくれている。そして、開けられた穴はムササビやヤマネなど他の動物の巣にもなる。このようにアカゲラは、生き物の豊かな森を守っている。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)



富ちゃん Ⅲ ちゃん

NO.45



シナノキ (シナノキ科)

全国に分布する落葉高木で、高尾ではあまり見かけません。

シナノキの名前の由来は、樹皮が「シナシナしている」や、アイヌ語で「しぼる、結ぶ」を意味する「シナ」からきたという説などがあります。

木材の性質は、散孔材で均質で緻密、軽軟で加工しやすく、辺心材の境界や年輪はやや不明瞭です。用途は、器具材、割り箸、アイスクリームのへら、加工しやすさから彫刻材、として使用され、特に、合板の表面材として使用された「シナ合板」は高級な合板材です。

昔は、シナの樹皮から作った布はシナ布と呼ばれ衣類に利用してきましたが、綿の普及にともないその役割を終えました。また、水に強いために、帆船の帆あるいはロープなどにも利用されました。

東北の羽越地域では、現在でもその技術が受

け継がれ、シナノキの樹皮から取れる糸を織り上げた「羽越しな布」が国の伝統工芸品に指定され、帽子、バッグ、履物などの工芸品が作られています。

なお、初夏に咲く甘い香りのする花は、蜜源植物で、その蜂蜜は「シナ蜜」と呼ばれ芳香が強く、独特の風味を持っています。(Ⅲ)



シナノキの板



葉



樹皮

森林教室

横浜市立 谷本小学校

6月13日(木)～14日(金)の二日間、横浜市立谷本小学校6年生67名が森林教室にやってきました。

谷本小学校では、5年生時に学校所有の竹林から切り出した竹を炭用に割り、翌年の6年生時に竹炭焼きを体験するプログラムを長年続けています。今回は6年生となった児童たちが炭焼を体験します。

初日はメインの炭焼です。学校側のプログラムとして、前日に高尾山登山をしてきたとのことですが、本日も元気良く開始！伏せ焼き窯2カ所とドラム缶窯2カ所に別れて、材料の竹運びます。規則正しく隙間無く並べることが、焼き上がりを左右する大事なポイントです。次はいよいよ口火を吹き、うちわを使って熱風を送り込む作業です。これが一連の作業の中で一番過酷でデリケートな作業です。一生懸命うちわで扇いだ結果、およそ30分で煙が自然に排出される状態となり、当日の作業は終了。

午後からは、丸太切りと花炭づくりを行いました。横浜の大都会で育った児童たちですが、丸太切りでは意外にも？上手に鋸を使っていました。

また、花炭づくりでは折り紙・割り箸・ Pasta・松ぼっくり等、多彩な花炭が出来上がるはずですが、竹炭と同様に、明日のお楽しみということで初日のプログラムは終了しました。

二日目は、いよいよ窯出しです。児童はもちろん、実は職員も緊張する瞬間です。結果は、ドラム缶と伏せ焼き両方共に、まずまずの出来映えで、虹色に輝く炭も沢山出来ました。花炭も上々の出来上がりでした。できあがった炭を箱詰めした後、キャンプ場へ移動して、森林観察と、パワーポイントによる森林学習です。森林学習では地球温暖化の問題から高尾山に生息する動物の話まで盛りだくさんの内容に興味津々の様子でした。森林観察は50分と比較的短時間ではありますが、実際の植物の木や葉っぱに触ったり、活発に動き始めたザトウムシを捕まえたり、都会では味わえない貴重な時間を過ごせた様子でした。

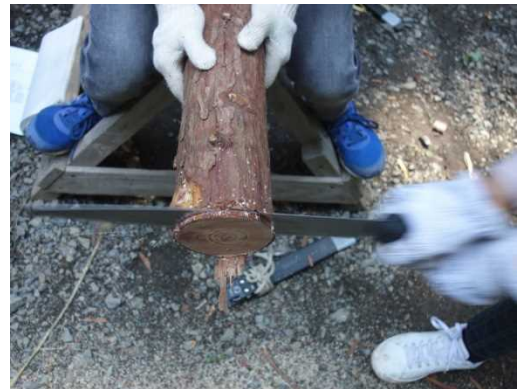
二日間にわたる長丁場のプログラムを無事に終了し、帰路につく時間となりました。少々疲れた様子も垣間見えたようですが、良い体験となったと思います。将来この体験を活かし、活躍してくださいね。
(磯)



きれいな炭ができました



ドラム缶窯へ熱風を送り込み！



丸太の薄切りにもチャレンジ



森林のはたらきについて学習中



葉っぱや虫に興味津々

森林教室

東村山市立 化成小学校

6月4日(火)に東村山市立化成小学校5年生91名を対象とした森林教室を行いました。ふれあい館到着時は朝早く出発したせいかやや疲れ気味でしたが、開校式では「初めての移動教室を楽しく協力してもりあげよう」とのスローガンを児童全員が大きな声で唱和しスタートしました。

午前中は、2班に分かれて森林学習と丸太切りを交互に実施し、午後は、6班に分かれ森林観察を実施しました。森林観察では各班にカメラが手渡され、職員が説明する木や花、運良く散策中に現れたミミズやカエルなどを撮影しながら約2時間の観察を楽しんでいました。閉校式では、「東村山では見たことのない植物が見られて良かった」「葉っぱ笛を教えてもらって楽しかった」「丸太切りも森林観察も初めての体験でとても楽しかった」等次々に感想が述べられ森林教室を楽しんでくれたことを感じる事ができました。

帰る時間となり、バスに乗り込む児童1人1人からの「ありがとうございました」とのお礼

の言葉と、先生からの「来年もよろしくお願ひします」との言葉で疲れもとれ、心地よい1日となりました。(谷)



森林のはたらきについて学習中



クリスマスツリーの木だ！

森林教室

八王子市立 みなみ野小学校

6月7日(金)、八王子市立みなみ野小学校5年生106名が森林ふれあい館に来館、森林教室を行いました。

当日は、雨が予想されていたことから予定を変更し、午前中に全員で森林観察をすることとしました。

開始早々に雨が降り始め、結局カッパを着たり傘を持っての森林観察となりましたが、水滴がきれいに光る葉っぱがあったり、普段見ることのないカエルも出てきたりして、雨ならではの観察となりました。

午後は2グループに分かれ、座学の森林学習と丸太切りを実施。

学習では、職員がパワーポイントを使って森林の働きについて説明。質問時には児童からたくさんの質問が出され、学校で環境問題に関心を持って事前学習をしていることが感じられました。

丸太切りでは、思ったより上手に鋸を使う児童が多く、厚めに切ったり薄く切ってみたりと、何回もチャレンジしていました。

閉校にあたり、児童から「雨の中だったけど楽しかった」「環境を守ることの大切さが分かった」等の感想を頂き、次につなげる意欲を

もらったところです。

あいにくの雨となってしまった1日でしたが、ケガもなく無事終了し、職員一同ほっと胸をなで下ろしました。(高)



雨の中でも元気に森林観察



雨のため、屋内での丸太切りへ

～山の日記念～ 一般公募イベント 参加者募集中です！

「親子森林探検とクラフトづくり」

～森林探検～

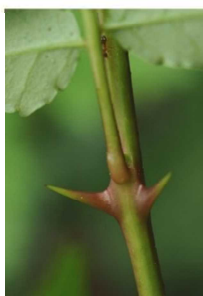
～クラフトづくり～



1. 開催日時：令和元年8月4日（日）10：00～15：00
2. 集合解散場所：八王子市 高尾山国有林 日影沢キャンプ場
（JR中央線・京王高尾線の高尾駅北口から、京王バス「小仏」行きに乗車し「日影」バス停で下車。案内係の職員と徒歩で約10分）
3. 内 容：「親子森林探検とクラフトづくり」を実施します。※内容については変更する場合があります。
 - ・森林探検（日影沢キャンプ場周辺を歩きながら、ポイントごとにクイズや丸太切り等を行い森林を探検します。）
 - ・クラフトづくり（木の実や枝を使った工作を行います。夏休みの宿題にも最適です！）
4. 募集人員：小学3年生以上の親子10組（20名程度）※応募者多数の場合は抽選です。
5. 応募締切：令和元年7月19日（金）必着 **※必ず往復はがきで応募ください。**
6. 申込方法：往復はがきの往信面に、イベント名、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名（必ずふりがなを入れてください）④年齢⑤確実に連絡のつく電話番号、返信面にお申込者の宛名をご記入の上、下記までご応募ください。**※切手代金に不足が生じないようご確認願います。**
〒193-0844 八王子市高尾町2438-1
高尾森林ふれあい推進センター「親子森林探検とクラフトづくり」係
7. 参加費（保険料）：一人当たり300円
8. 持ち物、服装：弁当・飲物・タオル・雨具等。山歩き可能な服装（帽子・長袖・長ズボン・軍手・運動靴等）をお願いします。
9. その他：小雨決行（荒天中止）**中止の場合は8月2日（金）17:00までに連絡をいたします。**
10. 問合せ：林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
（土日祝日を除く開庁日の8：30～17：15）
〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1
電話：050-3160-6040
FAX：042-663-7229
ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/>

編集後記

林内には、毒を持つ虫だけでなく、とげのある植物も存在します。ケガ防止のため、森林教室参加児童には長袖、長ズボン、長めの靴下の着用をお願いしています。



サンショウのとげ

Forest通信 NO.365

発行：林野庁関東森林管理局
高尾森林ふれあい推進センター



ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1
TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>